

覚



曉



おうよう 欧陽詢(唐)の九成宮醴泉銘から
字を集めて、倣書(背臨)で書いています
九成宮醴泉銘は、「楷書の極則」と
評されている。字形は、端正、縦長、
厳格で切れ味鋭い筆法、背勢で
直線的である。
全体に、上に狭く、下に広い特徴がある

しゅみんあかつき 春眠曉を覚えす

春は氣候が暖かくよく眠れる。

(孟浩然の詩)